

機械仕掛けのクジラ、ウサギ、金魚など……造形作家・松岡ミチヒロの粘土造形プロセスを大公開

「粘土でつくる空想生物 ゼロからわかるプロの造形技法」 発売のご案内

9月20日(木)発売

株式会社ホビージャパン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:松下大介)は、機械仕掛けのクジラ、ウサギ、金魚など、造形作家・松岡ミチヒロの粘土造形プロセスを大公開した書籍、「粘土でつくる空想生物 ゼロからわかるプロの造形技法(ホビージャパンの技法書シリーズ)」を、9月20日(木)に発売いたします。

手軽な粘土でここまでできる！ プロだけが知る制作テクニックを大公開

生物と機械を融合させた、スチームパンク調の作品で多くの人々を魅了する造形作家・松岡ミチヒロ。2018年秋には、中国・北京にて大規模な個展を開催予定。今まさに、世界の注目を集めているアーティストです。

本書は、そんな松岡ミチヒロの造形テクニックを紹介する初の技法書&作品集。クジラやウサギといった親しみやすいモチーフを取り上げ、粘土を使った作品づくりの工程を紹介していきます。彼の作品は、長い年月を経て朽ちたメカの味わいと、生物が持つ柔らかなフォルムが特徴。武骨なメカニカル部分はどのようにつくっているのか、生き物の柔らかなフォルムはどう表現しているのか……。プロだけが知る制作テクニックを、ひとつひとつ公開していきます。

●第1章 クジラ型の空想生物をつくる

1点物の大型作品の制作を通して、粘土造形の一連の流れをつかみます。

●第2章 ウサギ型の空想生物をつくる

ウサギがモチーフの作品をつくり、躍動感ある作品制作のコツを学びます。

●第3章 造形作品の型取り・複製

造形作品の型を取って複製し、バリエーション豊かな作品群をつくる方法を解説します。

●第4章 松岡ミチヒロの作品集&制作のヒント

個展や国内外のイベントで公開されたものの中から、生物モチーフのものを中心にピックアップ。制作前のイメージスケッチや、制作のヒントを合わせて掲載します。

扱いやすいアクリル絵の具を使って金属の質感を表現する技、錆びついたような汚し塗装の技、エアブラシでのカラーリングなど、塗装テクニックも多数収録。粘土を使った造形を始めてみたい初心者にも、プロの技を見て学びたい上級モデラーにも。工作・造形好きなすべての人の創造力を刺激する一冊です。



粘土でつくる空想生物 ゼロからわかるプロの造形技法

松岡ミチヒロ 著

●定価/本体 2,300円+税 ●発売日/2018年9月20日 ●判型/B5変・平綴じ 160P

●ISBNコード/978-4-7986-1771-8

◆書籍ページ http://hobbyjapan.co.jp/manga_gihou/item/2183/

◆ホビージャパンの技法書 公式WEB http://hobbyjapan.co.jp/manga_gihou/

◆twitter https://twitter.com/manga_gihou

◆facebook <https://www.facebook.com/mangagihou>



※お問い合わせは下記まで

株式会社ホビージャパン 広報宣伝課 佐藤・会田・深堀・岡本

TEL. 03-5304-9115 FAX. 03-5304-9318 E-mail. pr@hobbyjapan.co.jp

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-15-8 URL: <http://hobbyjapan.co.jp/>

● ページサンプル

2 下唇を削り削りたところ、喉筋を削り削りたところを本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。

3 下唇を削り削りたところ、上唇を削り削りたところを本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。

4 上唇を削り削りたところ、喉筋を削り削りたところを本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。

5 本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。喉筋を削り削りたところを本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。

6 本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。喉筋を削り削りたところを本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。

7 ここで本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。喉筋を削り削りたところを本漆を塗り、コーティングで硬化処理を施している。

2 ワッシング(汚して拭き取る塗装)

● アクリル絵の具を使って拭き取る

1 ここでは、わざと汚しを施す塗装「ワッシング」の中で、「ワッシング」と呼ばれる塗装技法。アクリル絵の具を水で薄くしたものを、筆などで塗る。ワッシングは、汚しを施すことで、リアルな質感を出す。

2 汚しを施したアクリル絵の具を、筆などで拭き取る。汚しを施したアクリル絵の具を、筆などで拭き取る。

3 汚しを施したアクリル絵の具を、筆などで拭き取る。汚しを施したアクリル絵の具を、筆などで拭き取る。

3 仕上げのディテールアップ

● えりまわりを仕上げる

1 えりまわり部分に黒い線を塗る。えりまわり部分に黒い線を塗る。

2 えりまわり部分に黒い線を塗る。えりまわり部分に黒い線を塗る。

● 足に装飾を加え、コイルを取り付ける

1 足の部分に装飾を加える。足の部分に装飾を加える。

2 足の部分に装飾を加える。足の部分に装飾を加える。

クジラの空想生物をつくる

● 尾ひれを接続する

1 本体の裏面と、尾ひれのパーツを接続し、その隙間に接着剤を塗る。

2 尾ひれを本体の裏面に接続する。

3 本体の裏面と、尾ひれのパーツを接続し、その隙間に接着剤を塗る。

4 尾ひれを本体の裏面に接続する。

5 尾ひれを本体の裏面に接続する。

6 尾ひれを本体の裏面に接続する。

クジラの空想生物をつくる

● 色味を染めてさらに汚しを加える

1 ボディの質感に合わせた色味を染め、汚しを加える。

2 色味を染め、汚しを加える。

3 色味を染め、汚しを加える。

4 色味を染め、汚しを加える。

潜水服姿のウサギをつくる

● リベット状の装飾を加える

1 リベット状の装飾を加える。

組み立て完了

白いコーラルチューブを染めた色味によって、メータイクは異なる表情が現れている。サフェイヤーを塗って仕上げを施し、最後に完成。